



これってどうして？

治療のあとの痛みや違和感



「治療が終わった！」とホッとしたのに痛みや違和感が残って「あれっ？」、と気になったことはありませんか？

歯科の治療はむし歯の治療ひとつとっても、生体の一部を削る外科的な処置をとまいます。そのため、いい治療ができて予後が順調でも一時期、痛みや違和感が出ることもあるのです。

詰めたあとにしみるってなぜ？

感染した**象牙質**を取り除いて詰めるには、**象牙質**を通る細い神経の末端も一緒に削り取らざるを得ないのです。自然に症状が治まることがほとんどなのでしばらく様子を見ていきましょう。

(しみたり痛んだりする期間は個人差が大きく、1~2週間から、長いと数か月続くこともあります。)

歯根の治療後の腫れ、違和感は？

神経の一部を切り取るという外科的な処置を行ったことも原因ですが、歯の内部の細菌を取り除いたあとも、歯の外側の**歯根膜**や**セメント質**に多少細菌が残っていることが影響しています。生体の力によって細菌が抑え込まれるまでしばらく違和感が残りますが、強く噛まずに大事にしていると徐々に消えていきます。

新しい被せ物に違和感が。なぜ？

隣の歯との間に物が挟まらないよう最初はいくらかキツ目にしてあります。少しずつ歯が動き、隣の歯となじむ居心地の良い場所に落ち着きます。すると歯が押されているような違和感が消えていきますので1週間ほど様子を見ましょう。

麻酔後の痛み、これはなぜ？

お口の中にはバイ菌がたくさんいるので注射の傷に軽い炎症が起きているのでしょう。

とくに**歯根膜**に注射をすると、よく効くかわりにしばらく歯が浮くような感じになります。数日で症状は消えるのでご安心ください。

治療後の痛みや違和感は、患者さんを不安にさせますが、その歯にいちばん詳しいのは治療をした歯科医師です。

「少し様子を見ましょう」は、「責任を持って経過を診ます」という歯科医師からのメッセージ。じっくりお付き合いください！

歯の構造

